

●演習ワークシート

事例 1

症例：65歳,男性

2型糖尿病。BMI 25kg/m²。5年前より2型糖尿病を指摘され、DPP-4阻害薬ジャヌビア[®]が開始になった。2年後にスルホニル尿素薬グリミクロン[®]が追加になり、血糖コントロールは良好であった。今年の検診で大腸がんが見つかり、手術予定となったため術前血糖コントロール目的に入院となった。

来院時検査所見

HbA1c	空腹時血糖	尿ケトン	血清Cペプチド
6.8%	145mg/dL	陰性	1.0ng/mL

肝機能・腎機能に異常なし。

合併症：網膜症なし，腎症第1期，神経障害なし

入院後，経口血糖降下薬を中止し，インスリン療法を開始した。現在，ヒューマログ[®]を朝食直前6単位，昼食直前2単位，夕食直前4単位注射している。最近3日間の血糖の推移は下記のとおりである。

	朝食前	朝食後	昼食前	昼食後	夕食前	夕食後	眠前
①	142		144		138		190
②	138	190	144	196	140		200
③	142		158		162		196

演習課題 1

術前血糖コントロールを達成するために，必要な介入を検討してください。

●演習ワークシート

事例 2

症例：60歳，女性

ステロイド糖尿病。BMI 25kg/m²。5年前より慢性関節リウマチと診断され、プレドニゾン 5mg が開始になった。2年前から尿糖陽性であったが、空腹時血糖が低かったため放置。検診でHbA1cを測定されたところ、高値を認めたため糖尿病内科を受診した。

来院時検査所見

HbA1c	空腹時血糖	血清 C ペプチド
8.8%	126mg/dL	1.2ng/mL

肝機能・腎機能に異常なし。

合併症：網膜症なし，腎症第1期，神経障害なし入院後，強化インスリン療法を開始した。

現在，ヒューマログ[®]を朝食直前4単位，昼食直前4単位，夕食直前6単位に加え，ランタスXR[®]を眠前に2単位注射している。最近3日間の血糖の推移は下記のとおりである。

	朝食前	朝食後	昼食前	昼食後	夕食前	夕食後	眠前
①	130		128		168		198
②	126		124		170		210
③	128		122		180		240

演習課題 2

血糖コントロールをさらに良好にするために，必要な介入を検討してください。